

1 修了要件

3年以上在学し、指導教員による指導のもとに、授業科目**8単位**及び研究指導**12単位**の合計**20単位**以上を修得し、博士論文を作成して提出し、その審査及び最終試験に合格しなければならない。

| 標準 修業年限 | 修了要件単位数 | | | | 論文・最終試験 | |
|------------|---------|---|------|----|---------|-----------------------|
| | 授業科目※1 | | 研究指導 | 計 | | |
| 3年 | 自研究領域 | 4 | 8 | 12 | 20 | 博士論文の審査及び最終試験に合格すること。 |
| | 他研究領域 | 4 | | | | |

※1 授業科目は、指導教員の所属する研究領域（自研究領域）から4単位、指導教員の所属する研究領域以外（他研究領域）から4単位を含めた計8単位以上を修得しなければならない。

なお、授業科目は、同一名称の科目を年度を重ねて履修することはできるが、修得した単位を重複して修了要件単位に算入することはできない。

2 指導教員

- ① 学生は、社会イノベーション研究科専任教員の中から指導教員を定め、その研究指導を原則として在学期間を通じて履修しなければならない。
なお、指導教員が指名する副指導教員による指導も併せて受けるものとする。
- ② 学生は、授業科目の選択及び博士論文の作成について、指導教員の承認を得なければならない。博士論文の提出要領については、99ページ以降を参照すること。

3 履修上の注意点

- ① 授業科目は、半期開講1科目2単位、研究指導は、通年開講1科目4単位である。
- ② 社会イノベーション専攻博士課程前期では、イノベーションに関する共通認識を修得するため、各研究領域の総論的な科目として「基盤科目」を開設している（94ページ参照）。その趣旨を踏まえて、博士課程後期から入学する学生については、基盤科目を自主的に聴講することが望ましい。
- ③ 本研究科入学前に修得した大学院開設科目の単位については、修了に必要な単位として認定することができる場合がある。詳細については、研究科事務室において確認すること。